

固縛マニュアル

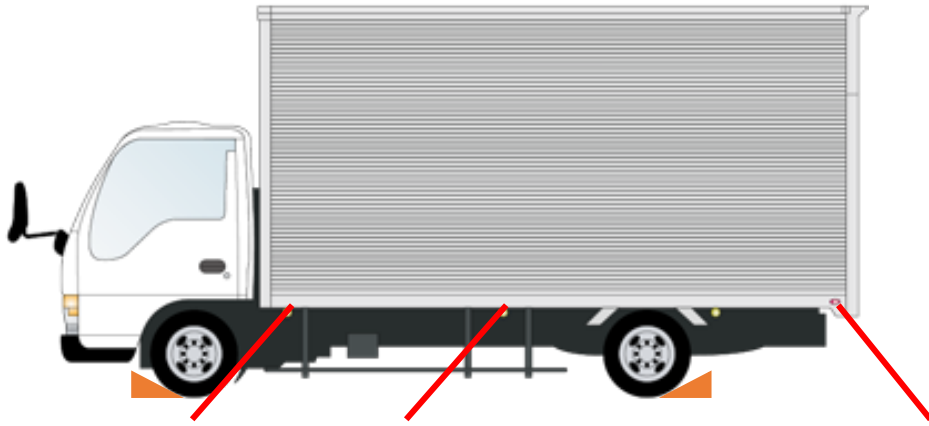
野母商船株式会社

1. 車止め及び固縛装置取付け要領

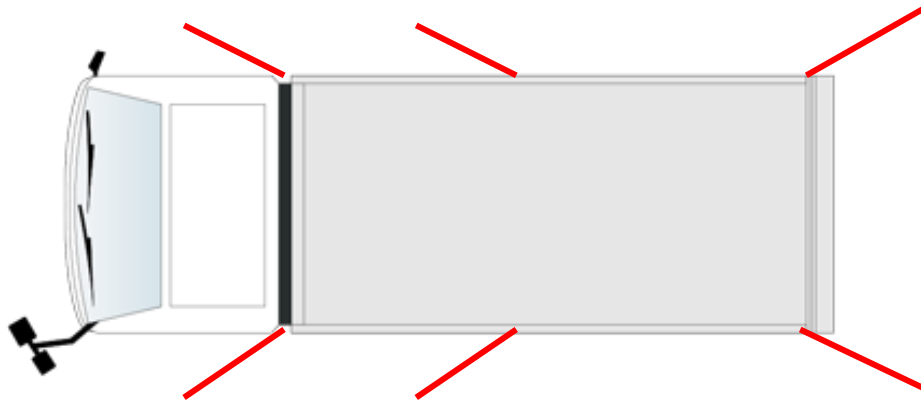
- (1) すべての自動車について、車止めを行う
- (2) 原則として、積み込まれたすべてのトラック、特殊自動車、危険物積載車両、コンテナに、別紙図のとおり固縛装置を取付ける。
- (3) 重心の高いトラック、特殊自動車、危険物積載車両にはオーバーラッシングを行う。なお、車両甲板においてユニック車のアウトリガーは車両固定に使用しない。
- (4) 荒天時においては、荒天の状況に応じて別紙図のとおりプーラー・ラッシングベルトの本数を増やしてラッシングの強化を図る。
- (5) 波浪・風浪等の状況を踏まえ、船長又は船内作業指揮者の判断により、さらにプーラー・ラッシングベルトの数を増やす。
- (6) オーバーラッシングが、停車位置等により設置できない場合は、プーラー・ラッシングベルトの数を適宜増設する。
- (7) トラック等車両に固縛リングがない場合、フレームにプーラー・ラッシングベルトをかけ車止めを 8 か所にする。
- (8) 乗用車は荒天時において車止めを増やす。ただし、乗用車にプーラー・ラッシングベルトをかけることが可能な場合には、当該ベルトを設置する。
- (9) 特殊な形状の車両および上記マニュアルに則った処置が出来ない車両については、船長又は船内作業指揮者の判断により、適宜必要な処理を行う。

2. 固縛方法

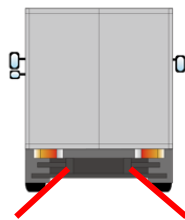
(1) トラック (平常時)



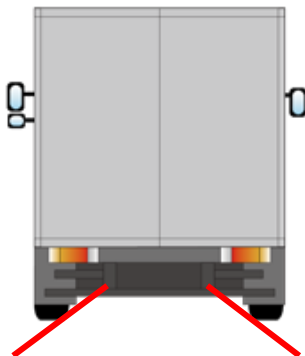
※リング・スプリング、またはフレームにフックを掛ける



(車両に固縛リングがない場合)

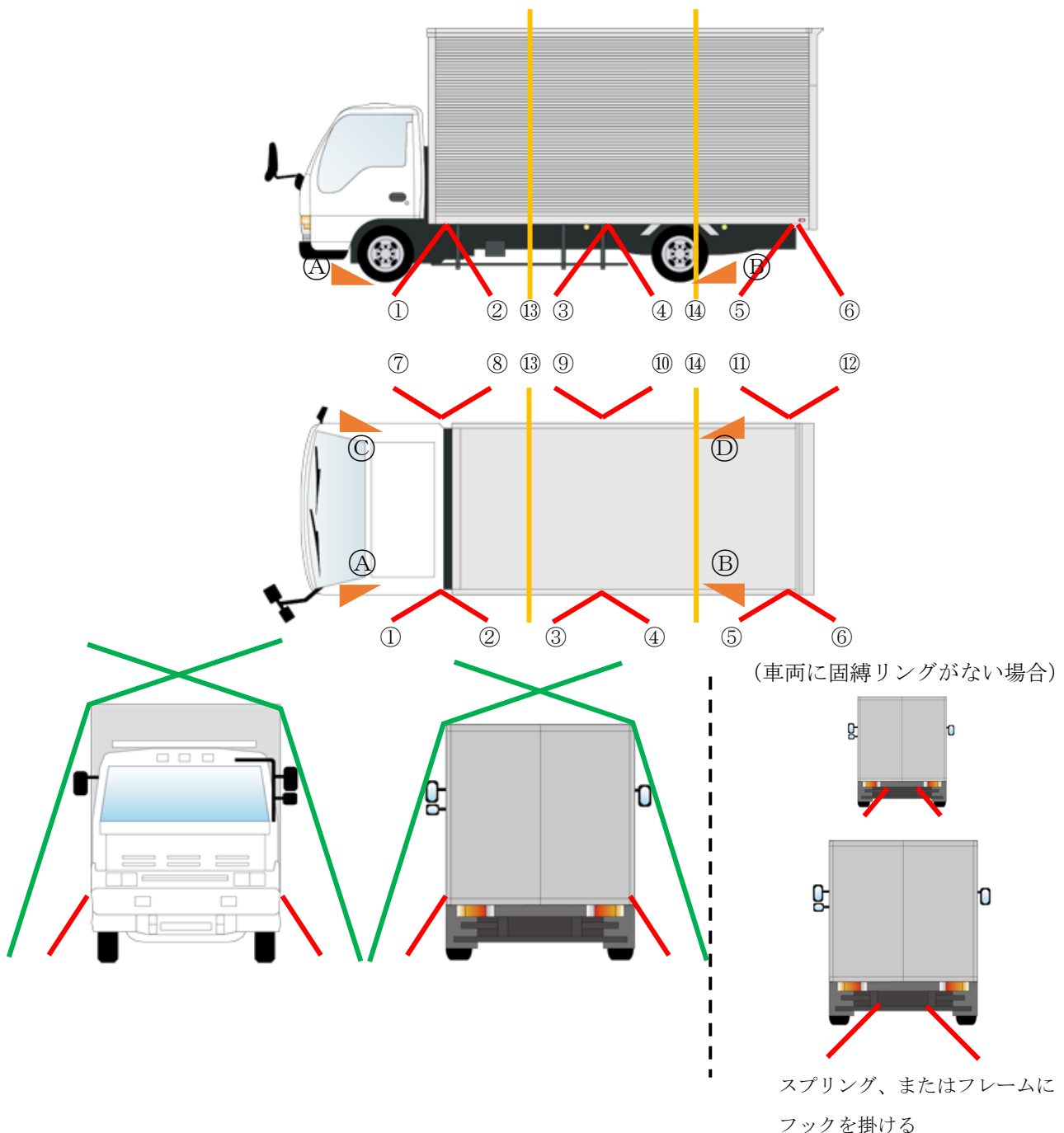


スプリング、またはフレームにフックを掛ける

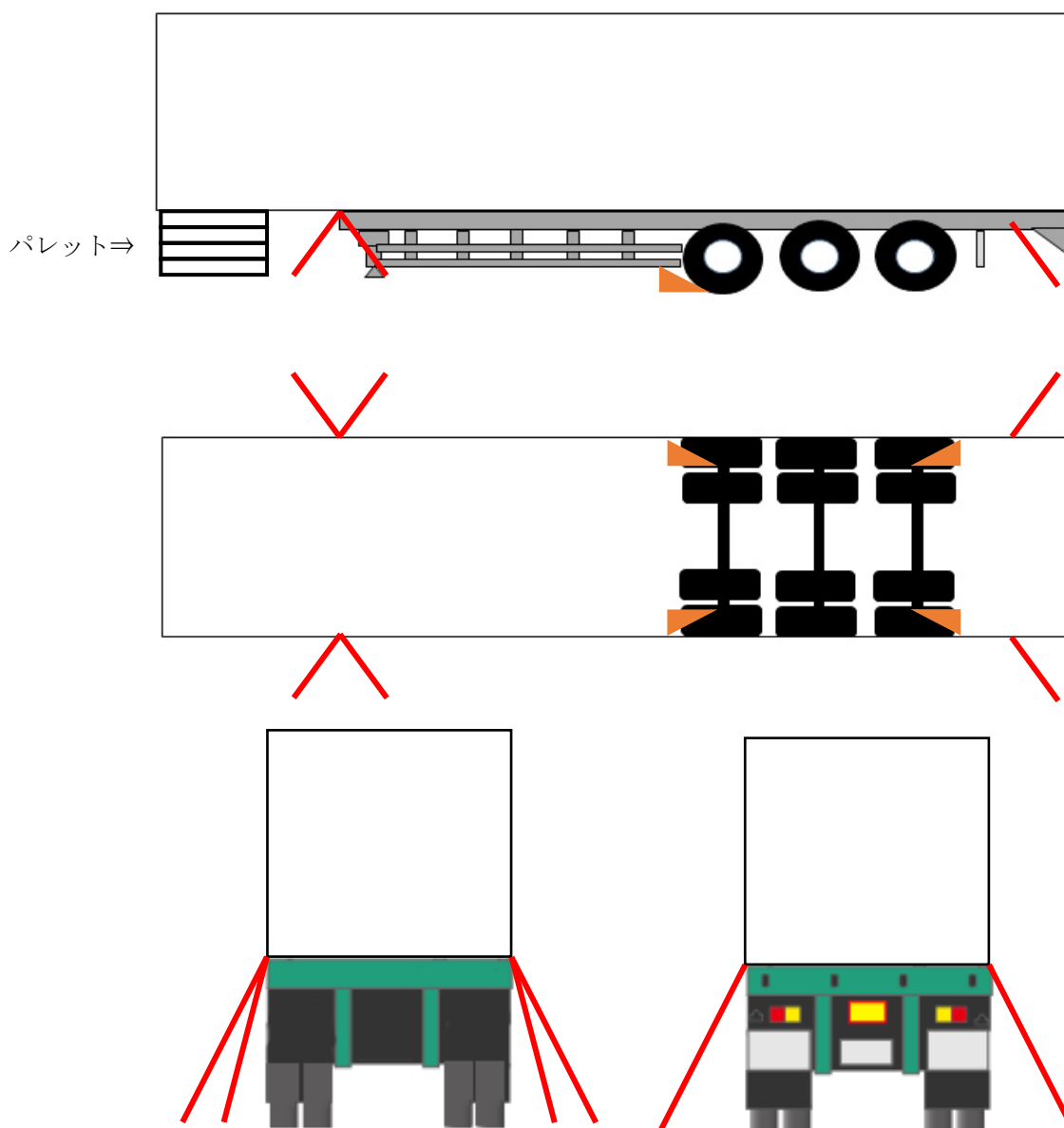


(2) トラック (荒天時)

基準	ラッシングの方法
I. 平常時 (1~2 m)	車止め 4ヶ所 (A B C D) ラッシングベルト 6本 (① ③ ⑥ ⑦ ⑨ ⑫) (片側 3本)
II. 波高 2 m ~ 3 m 未満	車止め 4ヶ所 (A B C D) ラッシングベルト 8本 (① ② ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑪ ⑫) (片側 4本)
III. 波高 3 m 以上	車止め 4ヶ所 (A B C D) ラッシングベルト 12本 (①~⑫) (片側 6本) 横張り 2本 (⑬ ⑭) オーバーラッシング 4本 (2対) (但し、トラックの形状・積付場所等により固縛できない場合がある)



(3) トレーラー (平常時)

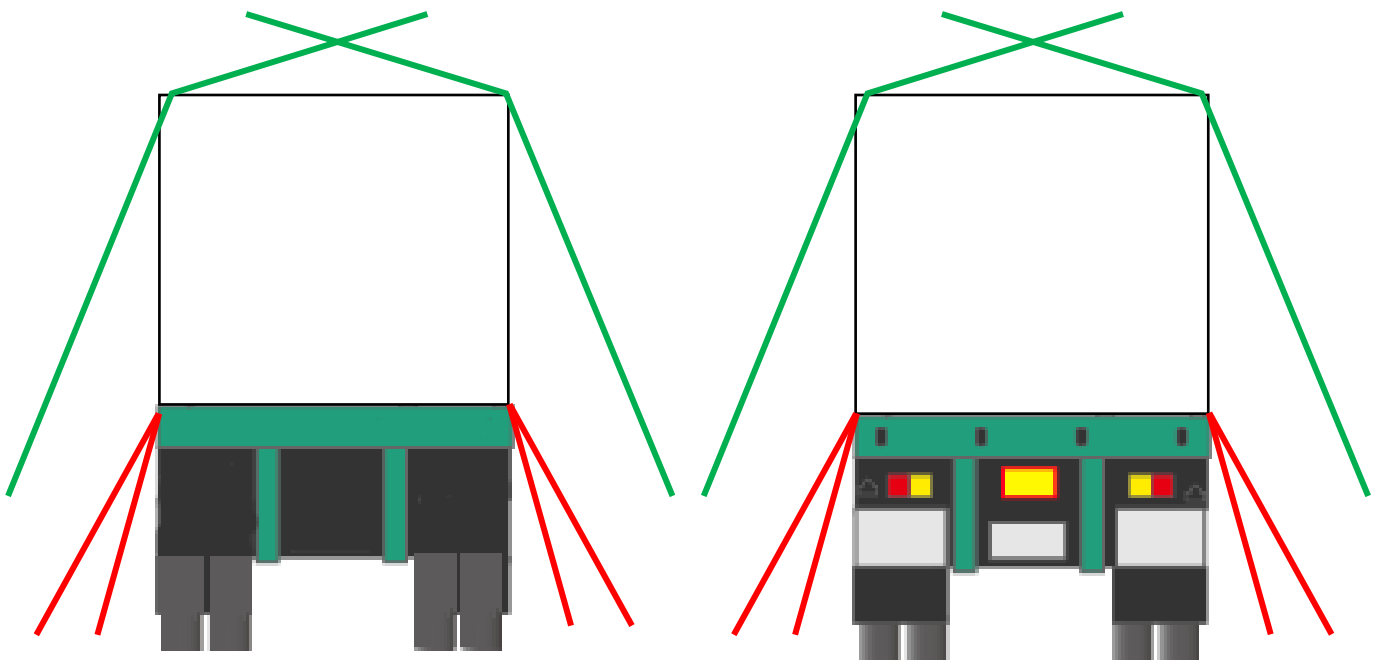
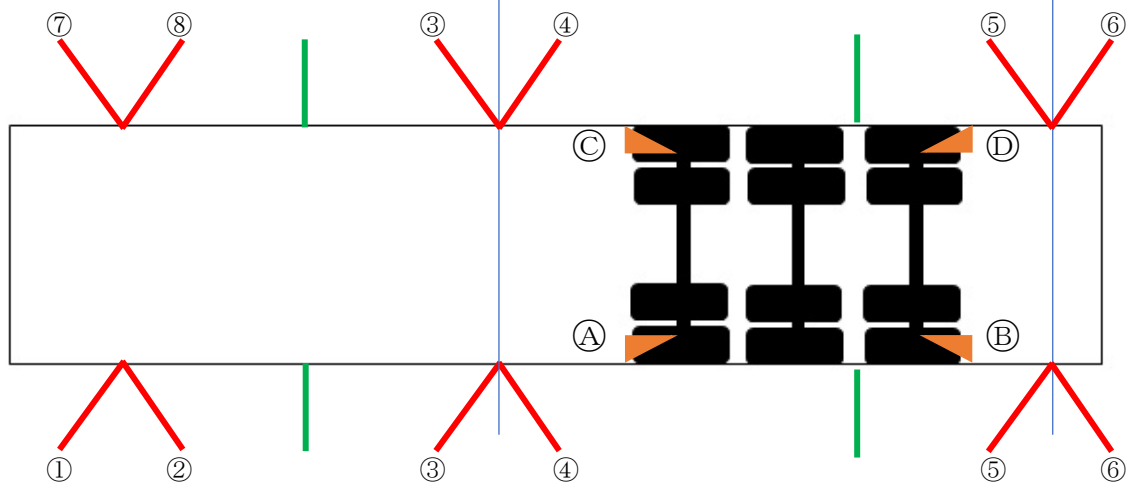
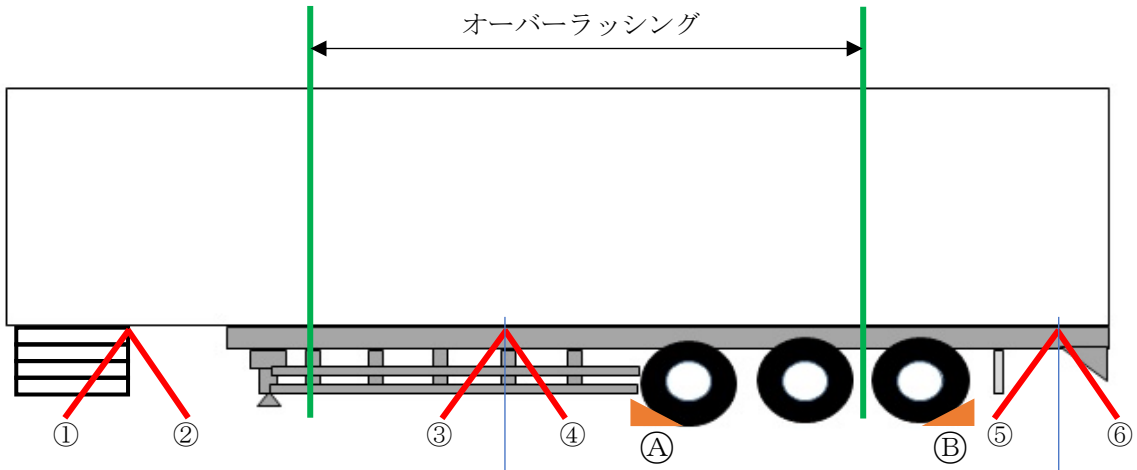


(4) トレーラー (荒天時)

基準	ラッシングの方法
I. 平常時 (1~2 m)	車止め 4ヶ所 (A B C D) ラッシングベルト 6本 (① ② ⑥ ⑦ ⑧ ⑫) (片側 3本)
II. 波高 2 m~3 m未満	車止め 4ヶ所 (A B C D) ラッシングベルト 8本 (① ② ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑪ ⑫) (片側 4本)
III. 波高 3 m以上	車止め 4ヶ所 (A B C D) ラッシングベルト 12本 (①~⑫) (片側 6本) オーバーラッシング 4本 (2対) (但し、シャーシの形状・積付場所等により固縛できない場合がある)

オーバーラッピング

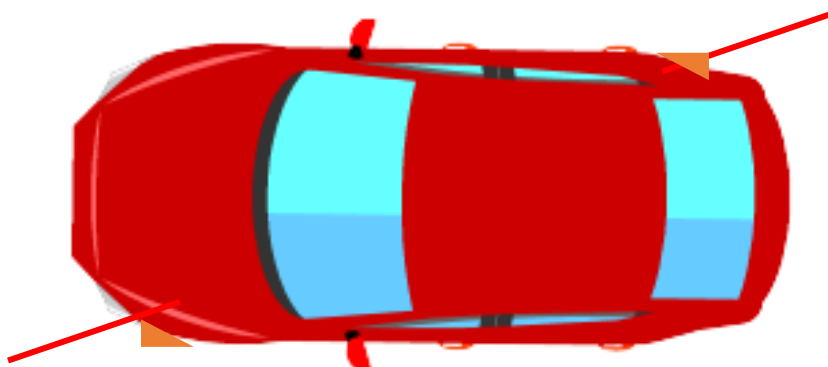
パレット⇒



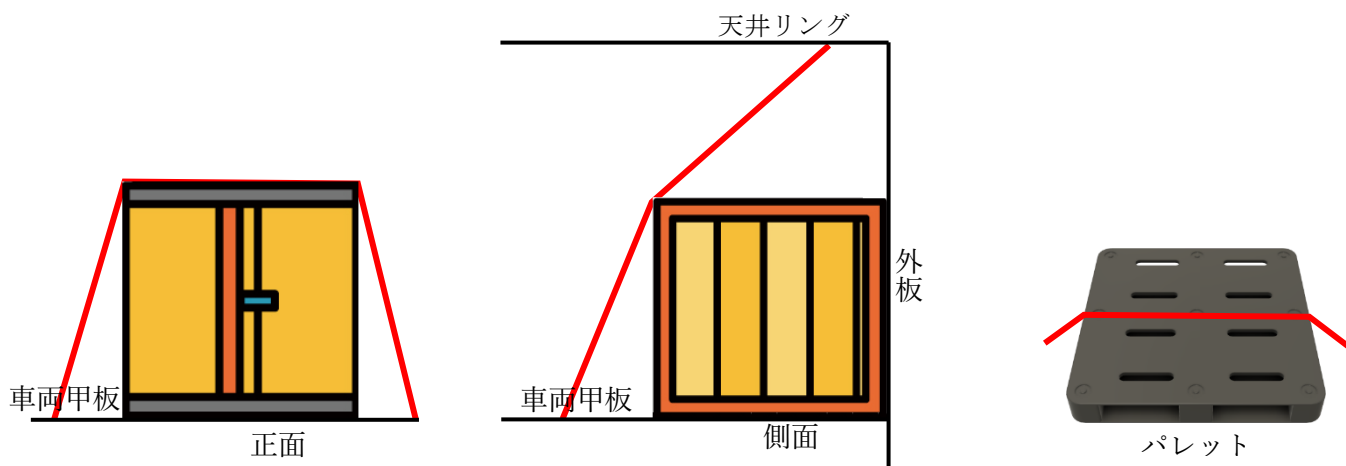
(5) 乗用車（荒天時）

○平常時においては車止め2ヶ所のみとする。

○波が3 m以上を荒天時とする。



(6) コンテナ・パレット（荒天時）



(注：荒天時コンテナ及びパレット類は2段積みしない)